

2009年10月20日



資料館通信 第62号

ふじみ野市立 上福岡歴史民俗資料館 埼玉県ふじみ野市長宮1-2-11 TEL 049-261-6065
大井郷土資料館 埼玉県ふじみ野市大井中央2-19-5 TEL 049-263-3111



権現山古墳群 2号墳（前方後方墳）



権現山古墳群出土 壺形土器

上福岡歴史民俗資料館 第24回特別展

「権現山古墳群とその周辺」

を12月6日(日)まで開催

市内北東部の新河岸川を望む台地上にある権現山は、徳川家康が鷹狩で休憩したという伝承があり、また緑豊かな場所として、古くから市民に親しまれています。

この権現山は、発掘調査によって、3世紀後半（古墳時代初頭）築造の前方後方墳1基と方墳11基で構成されている古墳群であることがわかりました。平成14年に出土品の一部とあわせて県指定文化財（史跡）となり、現在保存整備を進めています。

今回、古墳の先駆けとなる方形周溝墓や、市内及び周辺の遺跡・出土遺物、権現山古墳群と同時期の出土遺物等との比較・変遷を紹介しながら、権現山古墳群の位置づけや重要性、権現山古墳群が築かれた時代について、考えていきたいと思えます。

開発等により多くの古墳や遺跡が姿を消しています。この機会に、今日まで保存されてきたこの貴重な古墳群について、多くの方々に知っていただけたら幸いです。

- 会場：上福岡歴史民俗資料館1階展示室及び2階展示ホール
- 入館料：無料
- 開館時間：午前9時～午後4時30分
- 休館日：毎週月曜日

第24回
特別展

「権現山古墳群とその周辺」の紹介

I 弥生時代から古墳時代へ

権現山古墳群以前の弥生時代後半から終末期（1世紀～2世紀頃）につくられた、本村南遺跡（三芳町）、南通遺跡・東台遺跡・北通遺跡（富士見市）などの方形周溝墓（周囲に溝をめぐらせた四角い形の墓）や出土品を紹介します。

II 権現山前夜

古墳時代前期（3世紀後半～4世紀）になると、市内には新河岸川沿いの権現山遺跡や滝・丸橋遺跡、川崎遺跡に集落がうつり、畿内や東海地方の影響を受けたと思われる土器が見つかっています。なかでも滝遺跡から出土した口縁部をS字状に整えた台付甕の発見は、権現山古墳群の発見にもつながりました。

III 権現山古墳群

権現山古墳群は、全長32mほどの前方後方墳である2号墳を中心に構成されており、おそらくこのあたりを治めていた首長の墓と考えられます。埋葬儀礼に用いたと思われる様々な土器も見つかっています。

IV 同時期の遺跡と前方後方墳

権現山古墳群と同時期の、下道添遺跡（東松山市）や中耕遺跡（坂戸市）などの出土品や、埼玉県内の前方後方墳をとりあげ、権現山古墳群と比べてみます。

V 権現山以降

権現山古墳群の後、4世紀後半につくられた三変稻荷神社古墳（川越市）などにみられる古墳の副葬品の変化や、5世紀中ごろに権現山古墳群に続く台地上の北側につくられた「権現山北古墳群」（円墳1基、方墳3基）から出土した、入間地区最古の円筒埴輪の破片もとりあげ、壺形土器から埴輪への移り変わりをとおして、首長クラスの墓が変わっていく様子を紹介합니다。



権現山古墳群出土 高環

IV 権現山～別の角度から～

近世の史料に登場する「権現山」や、権現山古墳群の発掘調査の経緯などを紹介します。

● 特別展記念事業（定員は各回50人）

	内 容	日 時	講 師	参加費
1	権現山古墳群の見学と展示解説	10月25日（日） 午後1時30分～	本館学芸員	100円 （保険料）
2	特別展記念講演会 「権現山古墳群の発見とその時代」	11月1日（日） 午後1時30分～	笹森健一氏 （元国士館大学講師）	無料
3	特別展開連講座 「南関東の前方後方墳」	11月22日（日） 午後1時30分～	石坂俊郎氏 （埼玉県教育委員会）	無料
4	第63回歴史民俗学習講座「古式古墳の儀礼」	11月29日（日） 午後1時30分～	福田 聖氏 （(財)埼玉県埋蔵文化財 調査事業団）	無料

会場：1は上福岡歴史民俗資料館展示室に集合。2～4は上福岡歴史民俗資料館研修室。

申込・問い合わせ：上福岡歴史民俗資料館 ☎ 049-261-6065) まで。

大井郷土資料館の事業

1 季節展示等

No	名 称	期 日	会 場
1	昔のくらしと昔の学校	9月25日(金)～10月30日(金)	郷土学習室・常設展示室
2	社会科研究作品展	11月6日(金)～12日(木)	郷土学習室
3	正月飾り	12月12日(土)～平成22年1月17日(日)	常設展示室
4	縄文土器作品展	1月23日(土)～31日(日)	常設展示室
5	雛人形展	2月20日(土)～3月14日(日)	常設展示室
6	三富文化財ウォーク写真展	2月20日(土)～28日(日)	郷土学習室

2 講座等

No	名 称	期 日	会 場
1	郷土の伝承あそび (缶ポックリで遊ぼう)	10月24日(土)	研 修 室
2	郷土の伝承あそび (風車を作ろう)	12月12日(土)	研 修 室
3	古文書講座	平成22年1月17・24・31日/2月7日 ※いずれも日曜日	研 修 室
4	郷土の伝承あそび (お手玉で遊ぼう)	平成22年2月27日(土)	研 修 室

三富文化財ウォーク —河岸道と大井宿を歩く—

埼玉県・ふじみ野市・三芳町・所沢市・川越市・狭山市の6自治体で構成する三富地域文化財普及・活用事業実行委員会では、現在も整然と残されている三富開拓地割遺跡を広く知っていただくことを目的に、今年度は三富の産物を新河岸川の河岸に運んだ河岸道や大井宿など、ふじみ野市や三芳町にのこるゆかりの文化財や史跡などを見てまわる、文化財ウォークを11月14日(土)に開催します。

また、文化財ウォークの写真展を平成22年2月20日(土)～28日(日)に大井郷土資料館で開催する予定ですので、皆様のご来館をお待ちしております。

～三富地域と福岡河岸をつなぐ河岸道～

三芳町上富にある多福寺は、三富開拓にゆかりのある寺として有名ですが、この多福寺の門前には、「古市場道」「川越道」「所沢道」などと記された道しるべを兼ねた供養塔(建立時期は不明)があります。

「古市場道」とは、新河岸川舟運の「古市場河岸」(川越市)に行く道のことで、「福岡河岸」(市内)の対岸にある河岸場(船着場)です。この道しるべから、三富地域と古市場・福岡河岸とを結ぶ河岸道の存在がわかります。

境内の木宮地蔵にちなんで名づけられた「地藏街道」も河岸道の一つで、河岸へはさつま芋などの農作物が、三富地域へは江戸(東京)から運ばれてきた肥料などが、運ばれていったと思われます。



多福寺門前にある道しるべ

ふじみ野市の両資料館への資料の寄贈

平成20年10月から平成21年8月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきましたので、紙上をもって厚くお礼申し上げます。

市立大井郷土資料館分

平成20年

- 9月11日 ふとん袋
富士見市 小川一代氏
- 12月2日 プリントゴッコB6ハイメッシュセット
川越市 福高雅子氏

平成21年

- 1月24日 三角上組床番帳
市内 三角上組
- 4月8日 算盤
市内 塩野長太郎氏
- 8月22日 田舟
市内 神木宏之氏



田舟

市内苗間地区で使用されていたものです。昭和30年代まで、刈り取った稲などを運搬する時に使われた民具です。

市立上福岡歴史民俗資料館分

平成20年

- 10月24日 電灯用傘（ガラス製）
市内 内田栄持氏
- 12月1日・18日
田舟・竿バカリ・サスガ・版木・弾薬箱・竹カゴ・ハケぼうき・米あげザル・教練用ナギナタ・明治時代の賞状・卒業証書など
市内 横山利雄氏
- 2月6日 獅子頭
市内 中央2丁目囃子連

平成21年

- 2月18日 ガンドウ・カンテラ
市内 伊藤信男氏
- 6月5日 写真（市内の神社・寺等を撮影したもの）ほか
市内 原田 高氏



大井高等小学校の修業証書（明治38年）

～多くの方々から寄贈していただいた資料を活用しています～

大井郷土資料館で、小学校4年生の社会科体験学習を行いました。昔の学校のそばんや石ばん、着物をはじめ、石臼など昔使われていた生活道具に触れてもらいました。



昔の人たちが、とても手間をかけていたこと、ものを大切に使っていたことなどを感じとってもらえたようです。